

令和5年度九州管内における電気事故について＜概要版＞

九州産業保安監督部

＜電気事故の発生状況＞

☆事業用電気工作物

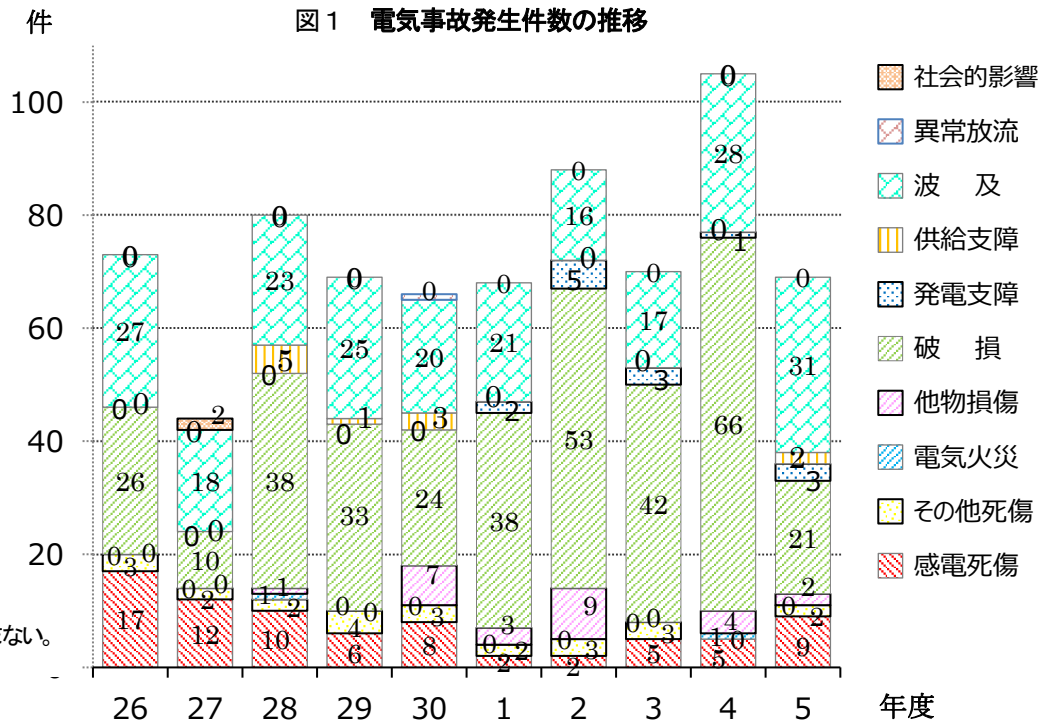
69件（前年度 ▲36件）

- ・感電死傷事故 9件
- ・その他死傷事故 2件
- ・他物損傷事故 2件
- ・破損事故 21件
- ・発電支障事故 3件
- ・供給支障事故 2件
- ・波及事故 31件

☆小規模事業用 14件

- ・他物損傷事故 2件
- ・破損事故 12件

※本資料の図表データに小規模事業用は含まない。



＜種類別の状況＞

1. 感電等死傷事故

◇感電死傷事故

☆9件（死亡1名、負傷8名）（前年度＋4件）

作業者死亡1名、作業者負傷5名

公衆負傷3名

☆過去10年では7月と8月が多い

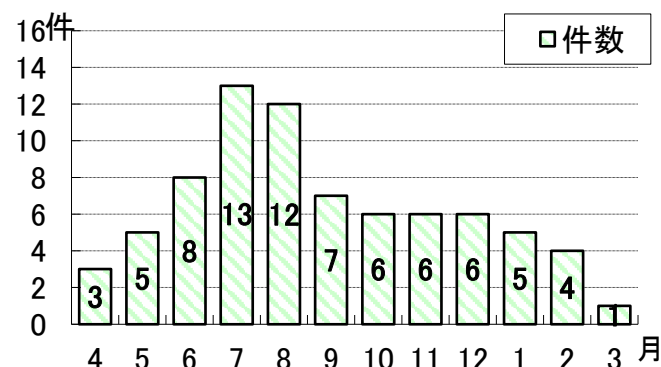
表1 電気事故の種類別発生件数

区分 種類	電気事業用	自家用	計
感電死傷	3 (1)	6 (4)	9 (5)
その他死傷	0 (0)	2 (0)	2 (0)
電気火災	0 (0)	0 (1)	0 (1)
他物損傷	0 (0)	2 (4)	2 (4)
破 損	6 (6)	15 (60)	21 (66)
発電支障	3 (0)	0 (1)	3 (1)
供給支障	2 (0)	0 (0)	2 (0)
波 及	0 (0)	31 (28)	31 (28)
異常放流	0 (0)	0 (0)	0 (0)
社会的影響	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	14 (7)	55 (96)	69 (103)

（注）（ ）内は前年度の件数

※1件の事故で複数に分類される場合があり、合計は一致しない。

図2 感電死傷事故の月別発生件数（直近10年間の累計）



◇その他死傷事故

☆2件発生（負傷5名）（前年度＋2件）

作業者負傷1名（アーク）、公衆負傷4名

2. 他物損壊事故、他者への損害事故

☆他物損壊事故 2件（前年度▲2件）

- ・太陽電池発電所において2件発生

3. 主要電気工作物の破損事故、設備の破損事故

☆21件（前年度▲45件）

発電種別等破損事故発生件数

火力発電所	11件（前年度13件）
太陽電池発電所	1件（同 47件）
水力発電所	5件（同 6件）
風力発電所	4件（同 0件）
送電線	0件（同 0件）
需要設備	0件（同 0件）

○発電設備 21件

- ・ 自家用電気工作物 15件
- ・ 電気事業用電気工作物 6件

○発電設備以外 0件

☆小規模事業用 12件

- ・ 自然現象（7月の風雨及び雷） 4件
- ・ 自然故障 8件

表2 原因分類別破損事故発生件数

発生 順位	原 因	電気事業用 電気工作物	自家用 電気工作物	計
1	調査中	1 (1)	5 (5)	6 (6)
2	保守不備／保守不完全	0 (0)	4 (5)	4 (5)
3	設備不備／製作不完全	1 (0)	2 (34)	3 (34)
3	自然現象／水害	3 (0)	0 (0)	3 (0)
4	保守不備／自然劣化	0 (1)	2 (4)	2 (5)
5	腐し／化学腐し	0 (0)	1 (0)	1 (0)
5	自然現象／風雨	1 (4)	0 (4)	1 (8)
5	自然現象／雷	0 (0)	1 (3)	1 (3)
5	自然現象／山崩れ	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	自然現象／氷雪	0 (0)	0 (2)	0 (2)
	燃料不良／燃料不良	0 (0)	0 (2)	0 (2)
	不明	0 (0)	0 (1)	0 (1)
	合 計	7 (6)	15 (60)	22 (66)

(注) () 内は前年度の件数

※1件の事故で複数の原因に分類される場合があり、合計は一致しない。

4. 発電支障事故

☆3件(前年度+2件)

- ・ 火力発電所 発電機破損 1件
- ・ 火力発電所 ボイラー破損 2件

5. 供給支障事故

☆2件(前年度+2件)

- ・ その他 1件
- ・ 原因不明 1件

6. 波及事故

☆31件(前年度+3件)

- ・ 過去10年平均では22.6件発生
- ・ 7～8月に数多く発生。

☆原因別

雷 19件、自然劣化5件、製作不完全3件ほか

☆設備別

高圧区分開器22件、高圧ケーブル 7件ほか

図3 波及事故の月別発生件数（直近10年の累計）

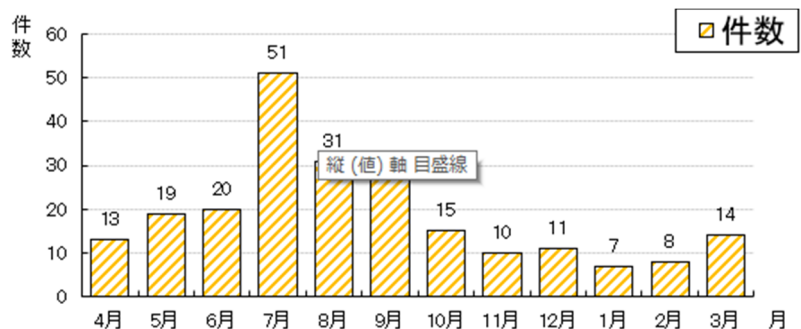
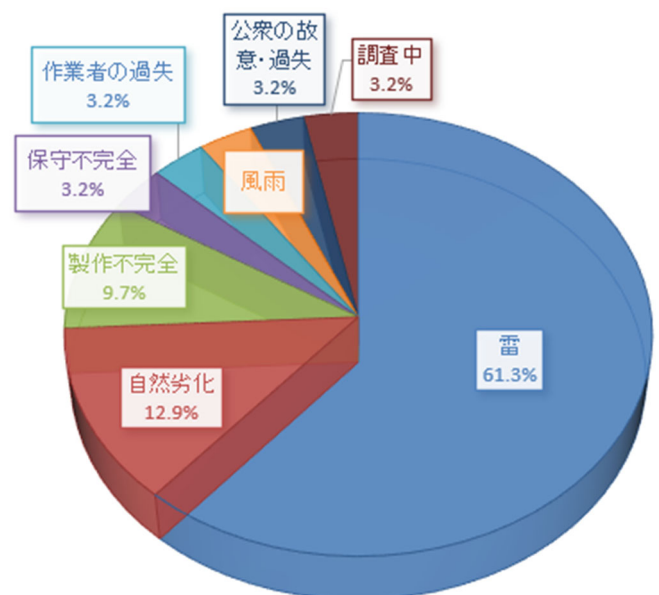


表3 波及事故の原因別発生状況

発生 順位	原 因	件 数	前年度の件数
1	雷	19 (61.3%)	15 (53.6%)
2	自然劣化	4 (12.9%)	3 (10.7%)
3	製作不完全	3 (9.7%)	1 (3.6%)
4	保守不完全	1 (3.2%)	2 (7.1%)
4	作業者の過失	1 (3.2%)	2 (7.1%)
4	風雨	1 (3.2%)	2 (7.1%)
4	公衆の故意・過失	1 (3.2%)	0 (0.0%)
4	調査中	1 (3.2%)	0 (0.0%)
-	火災	0 (0.0%)	1 (3.6%)
-	鳥獣接触	0 (0.0%)	1 (3.6%)
-	施工不完全	0 (0.0%)	1 (3.6%)
合 計		31 (100.0%)	28 (100.0%)

(注) 四捨五入の関係で合計は100%にならない。

図4 波及事故の設備別発生状況



7. 電気火災、ダムの異常放流及び社会的影響事故 発生なし